



CONTENTS

2・3・4・5面

平成26年度入学式特集

新入生代表・私の抱負

在学生代表・歓迎の言葉

両学部長のメッセージ

6・7面

科学の祭典にブース出展 景況に期待・学内企業説明会 開学20周年記念事業

学生企画プロジェクト 起業支援プロジェクト 国際交流フェアを開催

サークル紹介（ダンス部） オープンキャンパス2014案内

8・9面

10・11面

新大工学部とも単位互換協定 退任教員あいさつ

12~16面

平成25年度卒業式特集
卒業にあたって・思い出と決意
JABEE認定10人に修了証書
特別表彰 式典スナップ



NIIS公式ファイズブック

<https://www.facebook.com/nuisface>



NUJSスクールアプリ開設しました

NOISヘルプルームを開設しました
iPhone・iPad・Androidスマートフォン・タブレット向け
App StoreまたはGoogle Playストアから新潟国際情報大学で検索
アプリをダウンロードしてご利用ください。

LINE@
@nuis-line3111
LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録

入学式

式辭



新潟国際情報大学 学長 平山 征夫

幅広い分野に興味を持ち
将来の生きる道を見出そう

新入生の皆さん 本学への入学おめでとうございます。本学役員、教職員等を代表いたしまして、皆さんに心からお祝いを申しあげますとともに歓迎申しあげます。

本学は平成6年に開学し、昨年創立20周年を迎えたところです。従いまして皆さんは本学としては21回目の入学生となります。毎年このみずき野キャンパスに春とともに新入生を迎え、本日21回目の入学式を迎えるましだことは、本学の設立に関わりました一人として感無量であり、大きな喜びを持つてこの日を迎えました。

皆さんはこれからこのみずき野キャンパスで4年間の大学生活を送るわけですが、期待と不安で胸がいっぱいのことと思います。でも心配はいりません。私どもは教職員挙げて皆さんに大学生活に溶け込めるようサポートしますので、分からぬことは遠慮なく質問し、一日も早く大学生活に慣れ、有意義な日々を送れるよう体制を整えてください。

21年目の新たなスタートを切る本学の新たな歴史を、皆さんと一緒に刻むわけです

い。在建設中です。完成後は大いに活用ください。

本年は情報文化学部情報システム学科183名、国際学部国際文化学科117名、情報文化学部情報文化学科編入学1名、合計で301名の新入生を迎えました。私をはじめ教職員一同、建学の理念であります「わが国の社会、文化についての認識と理解を基礎に、国際化、情報化の社会の中で役に立ち、能力があり、意欲があり、人間性豊かな人物を育成する」という目的に向かって、皆さんが日夜勉学に勤しみ、人格・人間形成に励むことができるよう最大限サポートしてまいりますので、皆さんも全力でぶつかってきてください。

入学式に当たり学長として皆さんに少しお願いをしたいと思います。大学は高等教育の場です。皆さんは先ほど述べました本学の建学の精神等に共鳴し国際文化、語学、情報システム、経営情報といった専門分野に興味を抱いて、高等教育を本学で学ぶことを選択したわけです。私たちは皆さんのそうした希望に応える責任がありますが、皆さんにもご自分の目的に向かって努力す

大學では自ら主体的に学ぶことが求められます。高校のようにならぬための授業スケジュールに従つて学ぶのではありません。何を学ぶかカリキュラムをつくるのは自分です。しかも選んだ授業に出るか休むかも自己判断です。これまで見ていて、大學入学後最初の半年間に自ら学ぶという生活習慣を身に付けることが何よりも重要です。それができないと授業についてゆけず、欠席しがちになってしまいます。最初の半年間に学ぶ習慣をきちんと身に付け、学ぶことの楽しさを知つてください。

私は「大學は魚に泳ぎ方を教えるところだ」と言っています。もともと泳げる魚に泳ぎ方を教えるのは、より正しい泳ぎ方を教えることで、魚が自らの力でより力強い泳ぎ方を身に付けるためです。もともと皆さんは学ぶ力を持っているのです。皆さんのその力を最大限引き出すのが大學の役割だと思っています。入学後極力早く泳ぎ方の基本を身に付け、自分で泳ぎ始めてください。

もうひとつのお願いは「できる限り幅広い思考のできるよういろいろな問題に関心を持ち、自分の考えを持つようにしてください。

て私の尊敬している経済学者ソースティン・ヴエブレンの「一九二九年の世界恐慌を亡くなる直前予告した言葉を紹介しましたが、ヴエブレンはまた優れた教育者でもありました。最晩年に彼の教育論に賛同した人たちの支援で、彼はニューヨークに自分の理想とする大学を創りました。それは学位もカリキュラムの縛りもない全く自由に学生が自分の学びたいものを選ぶという大学でした。先生は本人の特性、能力等を見ながら学ぶ内容や学び方を指導し、疑問に答えてゆくという役割です。この大学は結果的にはあまりうまくやかなかつたようですし、現在ではこうした大学を創ることは日本では認められませんが、本来のあるべき高等教育の姿を示しているように思いました。大学は本来は自ら学びたいことを強く持つて、自ら学ぶ場なのです。皆さんはこの大学で自分の学びたいことと自分の適正と能力を見定めながら、自身の将来の生きる道、生き方を見出していくてほしいのです。「学ぶ目的をしつかり持つてほしい」

る責任があります。学生の本分は学ぶことです。私たちは全力で皆さんのお育ての指導に当ります。でもなんといっても学ぶのは皆さんです。

最初のお願いは当たり前のことですがあくまで「しっかりと勉強してください。入学したら早期内に勉強する習慣を身に付けてください」ということです。大学では高校までのようないくつかの知識を得るために学ぶだけではなく、知識を生かすこと、得た知識をもとにそこから真実を見出すべく考へることが求められます。考へる訓練が思考力となつて、判断力も磨いてくれます。一般基礎知識と専門知識をバランスよく学び、深い専門知識とともに、人間性豊かな人格形成にも努めるのも忘れないでください。

大学では自ら主体的に学ぶことが求められます。高校のように決められた授業スケジュール

さい」ということです。そのトレーニングが人間としての思考力を深めると同時に、相手の意見をも受け入れる包容力を身に付けてくれます。包容力のある人間性豊かな人格を形成していくことが、信頼され人間になる条件です。そのためには深く専門分野を学ぶことと同時に幅広く哲学、文学、美術、音楽など思考と感性を豊かにしてくれる分野にも大いに興味を持つて取り組んでください。クラブ活動や、先生や友人との人間関係から多くの事を得るでしょう。積極的に部活や友人づくりにも取り組んでください。入学式の最後に本学の校歌が歌われますが、その中に「あこがれを空に描いて 友と歩もう 夢創る道を」という歌詞があります。まさに本学で皆さんは豊かな人間性を育み、友と互いの夢を語り、その実現のために学んでください。

ということです。

り、資格修得を目指したり、部活で汗を流したり、多くの選択が大学生活にはあります。目的意識を持ち、秩序ある大学生活を送ってください。

もう一つあまり入学式にはふさわしくないのですが、毎年お願いしていることがあります。学生諸君だけではなくご父母の方々にも一緒にお願いしています。それはこうして期待に胸を膨らませて入学しながら、途中で休退学する学生がいることです。経済的理由による休退学者の増加もこのところ少し目立っていますが、勉学意欲の喪失、実質は授業についていけないという理由が一番多いようです。極めて残念なことです。しかもよく伺いますと、もつと早く相談してくれれば何とか休退学に至らずに済んだのにというケースもあります。私としましては極力こうした事態に至らぬよう大学も全力で皆さんの相談に乗つて問題解決に努めたいと思いますので、どうか悩みを抱え込まず相談してください。多くの場

合が自由過ぎて自分の目的が定まらず、勉強習慣が身に付かず授業についてゆけなくなるというケースが多いようです。そんな状態になり始めましたら、すぐにゼミの先生か学務課の担当者のほうへ、この4月から大学としても対応強化のため新しく設置いたしますキャンパスライフ支援委員会に相談してください。ご母の方々こちら家庭でどうぞよろしくお

ても勉学意欲は持つていてください。一緒に悩み、相談に乗ってくれる人がいることを忘れないでください。

明日からの皆さんの大學生生活が、このみずき野の豊かな自然の中で、充実したものとなりますよう願っています。東日本大震災から3年経過しましたが、思うようにな復興は進んでいません。被災のため大學生生活の継続や進学を諦めた若者もいます。こうした被災者の方々を思いやる気持ちを持ち、学ぶことのできる喜びを自覚してください。

本学では挨拶運動をしています。この式の後からは早速大学内ではお互い元気よく挨拶しましょう。挨拶から信頼しあう人間関係が生まれると信じているからです。今日から皆さんは同じ仲間として挨拶をしましょう。颯爽とした皆さんの大學生生活ぶりを楽しみにし、学長としての歓迎の挨拶といたします。

膨大な情報を見極める
疑問を解決する力を学ぶ



新入生代表
情報文化学部 情報システム学科
後藤 瓢樹

現在私たちは、情報、技術、通信が日々進化するという恵まれた環境の中にいます。この恵まれた環境を生かすためには、その環境に対応していく力が必要となります。膨大な情報を正しく理解し、何が正しいか、何が間違っているのかを見極める判断力や、多くの情報を集めて整理する分析力が必要となるでしょう。この力を大学での学修の中で身に付け、将来はその力を生かして社会に貢献できる人間になりたいと思います。

さて、いよいよ大学での学修が始まります。大学では、知識だけを詰め込むのではなく、なぜ? どうして? という疑問を常に持ち、その疑問を解決するために、物事の筋道をしつかり理解しながら学修を進めることがあります。さまざまな情報の中から、課題を見いだすためのひらめきや読解

力、課題を解決するために筋道を立てる思考力、自らの考えをほかの人伝え、理解してもらうための言語力や表現力が必要です。これらの力を、新潟国際情報大学の見識豊かな先生方から学び、自己を成長させていきたいと思います。また同じ大学で学ぶ学生は、同じ分野に興味を持ち、同じ夢に向かつて学修しています。そのため、友人との何気ない会話の中にも気付きや学びがあるでしよう。互いに切磋琢磨しながら成長していく有意義な4年間にしたいです。

最後に、この入学式という晴れ舞台に立つまでに私たちを育ててくれた保護者の皆さまをはじめ、お世話になつた皆さま方に感謝し、これから大学生活では自らの目標を高く掲げ、その目標に向かつて真剣に学び続けることを誓い、新人生を代表しての抱負とさせていただきます。

日本私立大学協会会長	大沼 淳様
新潟県知事	泉田 裕彦様
新潟市長	篠田 昭様
新潟商工会議所会頭	福田 勝之様
株式会社日本ドリコム 代表取締役	山城 由紀雄様
株式会社リクルート 北関東マーケティング 代表取締役社長	吉澤 克彦様
セコム上信越株式会社 代表取締役会長	野沢 慎吾様
衆議院議員	石崎 徹様

でも勉学意欲は持つていてください。一緒に悩み、相談に乗ってくれる人がいることを忘れないでください。



在学生代表

情報文化学部 情報文化学科
大沼 龍二

4年後にどうなつていいか 目標を立てて大いに楽しもう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご臨席いただきました多数の保護者の皆さん、おめでとうございます。皆さんの入学を、在学生一同心から歓迎いたします。

さて、新入生の皆さんは新潟国際情報大学の学生として、これから4年間の大学生活を送ることになります。今どのようなお気持ちでしようか。分からぬ不安を抱えている方もいらっしゃると思います。しかし、大学は端的に言えば「楽しむ」場所です。勉学、研究に没頭する。友人や恋人との交遊に時間を費やす。クラブ活動に精を出す。教授やさまざまな大人たちとの関わりを広げる。自分で大学の外から楽しむものを見つけてくるのもいいと思います。そういった「楽しむ心」をこの大学生活でモノにし、社会に出てからはもちろん、これから生涯で持ち続けてほしいと私は思います。ですから皆さん、今からでも構いません。「大学生活を楽しむぞ」という気概でどうか臨んでみてください。

前書きが長くなりましたが、これから大学生活を送る上で大切なことを二つ、新入生の皆さんにお伝えしたいと思います。

一つは、「自分から考え自分から行動すること」です。高校までと違い、大学生には自分で決めなければいけない物事が多くあります。また、与えられている時間も膨大です。要するに、自由です。自由の中では選択肢があまりにも多いので、自発的な思考、行動に迫られると思います。ところがこの選択肢が多いことに気付かないまま、大学生活を送る人が意外と大勢います。ぜひこの言葉を常に念頭に置いておいてください。そして特に、大学の外へ積極的に行動の幅を広げることをお勧めします。

もう一つは「人との関わり、つながりを広げること」です。皆さんが困難に当たったときや、何か協力をしてほしいとき、誰かとつながっていれば必ず助けてくれる人が現れます。また人との関わりは常に自分に何かをもたらします。いいことばかりではありませんが、最後に自分を成長させてくれるのは人との関わり、つながりです。

しかし、大学は端的に言えば「楽しむ」場所です。勉学、研究に没頭する。友人や恋人との交遊に時間を費やす。クラブ活動に精を出す。教授やさまざまな大人たちとの関わりを広げる。自分で大学の外から楽しむものを見つけてくるのもいいと思います。そういった「楽しむ心」をこの大学生活でモノにし、社会に出てからはもちろん、これから生涯で持ち続けてほしいと私は思います。ですから皆さん、今からでも構いません。「大学生活を楽しむぞ」という気概でどうか臨んでみてください。

皆さんのお入学を心から祝福し、これから大学生活が充実したものになることを願って、歓迎の言葉とさせていただきます。

湧源

入試・広報委員 内田 亨
編集後記に代えて

本学には本校みづき野キャンパス（越後赤塚）と新潟中央キャンパス（吉町）があります。両キャンパス間（約20km）をゼミの学生と歩いた。その目的は、災害時の帰宅困難の予行演習と忍耐力・團結力の醸成である。有志は、3年生と2年生の総勢6名。

2年生が企画書作成から当日のナビゲーションまで行つた。3月とはいえ、最高気温3℃最低気温氷点下1℃で、晴れ後曇り時々雪の天気だつた。スタートは、サブゼミ終了後の昼過ぎ。事務局長、学務課長の見送りがあり、学長から餡缶の差し入れも頂いた。こんなに激励してくれるとは思つてもおらず、一同気合が入つた。内野西が丘駅までは、主に未舗装の道中だが、思つたより快適であった。

内野では、秋祭りのコラボの打ち合わせで、専門学校に寄つた。その後、まもなく雪が降つてきた。風も吹き、体感温度は完全に氷点下である。しかし、一生懸命歩いていたためか、寒さは感じない。学務課には安全確認のため、道中の写真を定期的に送つた。その写真を学務課がツイッターでアップロードしたため、それらを見ることで、みんな励まされた。予定していた信濃川の土手道は、一部工事中で通行不可であったときや、何か協力をしてほしいとき、誰かとつながつていれば必ず助けてくれる人が現れます。また人との関わりは常に自分に何かをもたらします。いいことばかりではありませんが、最後に自分を成長させて自分自身の成長の糧としてください。それから目を背けず、全てをひとつ残らず吸収し自分自身の成長の糧としてください。それからも、出来事、人に出会います。間違いを犯してしまうことや、人を傷つけてしまふこともあります。それでも決してそれらを広げていてください。

これから先、大学生活を送つていけばさまざまなもの、出来事、人に出会います。間違いを犯してしまうことや、人を傷つけてしまふこともあります。それでも決してそれらを広げていてください。

両学部の新たな歴史を築こう

新入生の皆さんへ

ようこそ、新潟国際情報大学へ。皆さんを心から歓迎します。



佐々木 寛

可能性を大きく開花させよう

つたんリセットして、未来に向かって新しい希望を持つていただきたいということです。

を自分で決めてしまうことで、本当に小さくなつてしまつてあります。皆さんには、それぞれ皆さんのが思うよりも大きな可能性が眠つています。大学はその可能性に気づき、それを最大化させるところです。

新生の「国際学部」には、少人数のゼミナール、各種の海外留学、実際に「先生」になつて小中高等学校に出かけていく国際交流インストラクター、各種サークル活動やボランティア活動などなど、皆

応援します。

本当に「学問」を
することは、そう
いうことです。

からの「国際学部」の新しい伝統を一緒につくりていきましょう。皆さんのがこれから想いや行動が、「国際学部」の歴史をつくっていきます。今、皆さんにお願いしたいことは、これまでの自分をい

す。小学生の頃に持っていた
けど、いつの間にかあきらめ
てしまつた夢や、受験勉強な
どで忘れてしまつた未来のイ
メージをまた思い出してほし
いと思います。

多くの若者は、自分の限界
のと出合い、自分が変わること
あらかじめ決めつけをせず、
出合つたものには何にでも興
味を持ち、これまでの囚われ
から自由になつていく本当の
喜びを体験してください。
自分よりはるかに大きなも

本学は、今年度から2学部としてスタートしました。新しい情報文化学部は、開学以来の「情報システム学」をカリキュラムの基本としています。社会の変化に伴い、います。社会の変化に伴い、昨年度は1年から4年まで担任に相当する教員をクラスに配置しました。1、2年生は



白井 健二

グローバル社会を生き抜く力

Let'sを貸与してIT教育を実施します。また、大幅な科目の統廃合を実施します。「情報システム学」を堅持しながら、グローバル化に対応できるカリキュラム体系を進めています。

たは個人の活動に必要な情報の収集・蓄積・処理(加工)・伝達・利用に関わる仕組みであり、単にコンピュータを中心とした技術的なシステムを示すものではなくて、社会環

システムを構築するための情報技術（含むプログラミング）とネットワークに関する知識を修得し、情報システムを創造できる人材を育成することを目指しております。

かできる人材の育成を目指しておられます。このように情報文化学部は、グローバル社会を生き抜く人材を育成する新しい学部となりました。

基礎演習と情報システム演習を、3、4年生は卒業研究へとつながります。今年度は、さらなるカリキュラム改訂を実施します。1年次後期にはPBL(Project Based Learning)を導入し、5人に1台Tab

昨年度は、カナダ短期留学に23人が参加しました。カナダから帰国後は、将来の進むべき方向も明確になつております。今後も引き続き海外への留学を進めて行きたいと考えております。

会的で、人間活動に深く関わる社会的なシステムである」という広い捉え方をしておりま
す。昨年度から実施したコース
制は2年目を迎えます。情報
コースは、情報を使い新しい

一方、経営コースは、将来の企業経営者、特に新潟で活躍できる経営者や新しいビジネスに挑戦できる人材、情報システムを活用して経営のできる人材、自分で起業できる人材の育成を目指しております。あるいは、人間と社会に関わる分野を主体的に学修することで、人間の特性および人間活動、社会環境の理解に基づいた情報の創造と利活用ができる人材の育成を目指しております。

5



学内合同企業説明会

長岡市アオーレ
長岡で2月1、2日
の両日に開催された
「青少年のための科
学の祭典」新潟県大
学に、本学情報シス
템学科の近藤進教
授と同研究室の学生
4人がブースを出展
しました。

この祭典は、青少
年が自分自身で実験
や工作を体験し、科
学の面白さを感じて
いました。

貴重な情報 就活に弾み

3年次生を対象とした学内合同
企業説明会が2月4、5日の両日、
本校みずき野キャンパス体育館で
開催されました。平成27年3月卒
業予定の就職活動が本格化してい
る最中であり、企業の人事担当者
などから直接情報を聞ける機会
に、240人を超す学生が参加し
て真剣に取り組んでいました。

安倍政権
の経済政策
もあり企業
の景況感は
上向きで、4年制大学の採用も回
復傾向となつて期待されます。す
でに来春の採用を増やす予定の企
業も多くなつており、この度の本
学恒例の合同企業説明会には県内
外から208社の企業、団体に参

3年次生を対象とした学内合同
企業説明会が2月4、5日の両日、
本校みずき野キャンパス体育館で
開催されました。平成27年3月卒
業予定の就職活動が本格化してい
る最中であり、企業の人事担当者
などから直接情報を聞ける機会
に、240人を超す学生が参加し
て真剣に取り組んでいました。

開催されました。平成27年3月卒
業予定の就職活動が本格化してい
る最中であり、企業の人事担当者
などから直接情報を聞ける機会
に、240人を超す学生が参加し
て真剣に取り組んでいました。

安倍政権
の経済政策
もあり企業
の景況感は
上向きで、4年制大学の採用も回
復傾向となつて期待されます。す
でに来春の採用を増やす予定の企
業も多くなつており、この度の本
学恒例の合同企業説明会には県内
外から208社の企業、団体に参

Q. 活動状況を教えてく
ださい。
A. 週3回、大学のAトレ
ーニング室で先輩方やO
Bの方に教えていただき
ながら練習を行っていま
す。いくつ
かのジャン
ルがあり、
自分のやり
たいダンス
をするこ
とができま
す。

Q. 活動状況を教えてく
ださい。
A. 週3回、大学のAトレ
ーニング室で先輩方やO
Bの方に教えていただき
ながら練習を行っていま
す。いくつ
かのジャン
ルがあり、
自分のやり
たいダンス
をするこ
とができま
す。

Q. ダンス部を一言でア
ピールしてください。
A. 个性あふれる私たちと
一緒にダンスをして、大
学生活を充実させません
か!? 初心者大歓迎です
! イベントへの参加、
とにかく楽しい毎日にな
ると思います。

Q. ダンス部を一言でア
ピールしてください。
A. 个性あふれる私たちと
一緒にダンスをして、大
学生活を充実させません
か!? 初心者大歓迎です
! イベントへの参加、
とにかく楽しい毎日にな
ると思います。

Q. あなたにとつて、ダ
ンス部とは?
A. 一気の合う仲間と、熱中
してダンスができる大好
きな場所です。ダンスを
通して多くの人と関わ
り、イベントに出させ
ていただいたら、ダン
ス部に入部したからこそ
経験することがたくさん
あります。

いろんなジャンルを楽しむ

サークル紹介 Q & A

Q. どんな
大会に参加
しています

A. いろいろなジャンルの
ダンスを楽しんでいるダ
ンス部。部員は9人で、
主将の松澤栄美さん(情
報文化学科3年)に聞き
ました。

ダンス部



Q. どうな
どな
大会に参
加してい
ます

Q. あなたにとつて、ダ
ンス部とは?
A. 一気の合う仲間と、熱中
してダンスができる大好
きな場所です。ダンスを
通して多くの人と関わ
り、イベントに出させ
ていただいたら、ダン
ス部に入部したからこそ
経験することがたくさん
あります。

濃密な日々 一生の宝物



アメリカ



ロシア

私はアメリカで生活する寮に着いた時、不安を感じました。アメリカでの生活で友人ができることのかどうか、また私の英語力は向上するのかどうかと考えていましたからです。しかし、私の不安とは裏腹に、多くの友人をつくることができ、英語力を伸ばすことができました。これは多くの友好的な人々、素晴らしい先生方がノースウェスト・ミズーリ州立大学にいたからです。そのため、私の不安も取り除くことができました。

私はさまざまなかつとができました。アメリカンフットボールの試合、パレード、ミ

最後に、私はアメリカにもう一度行きたいのはもちろん、親友のサンディエゴに会いにネパールにも行きたいと思つていています。そのために、私はこれからも英語を一生懸命勉強していくつもりです。

私たちロシア語コースは、5人という少人数ですが、8月10日から約4ヶ月間、ロシアのウラジオストクにある、極東連邦大学へ留学してきました。この留学に行くかどうかは直前までずっと決めていたし、行く決心をしてからも現地での生活やそれに伴う会話など、不安は

百聞は一見にしかず
話す度胸が身に付いた



情報文化学科
長橋 優大

ロシアでの生活は、快適なのはばかりではありませんでした。たとえば、スープで「つり銭がないからもつと細かいお金を出せ」と言われたり、10円の半ばあたりまで寮のシャワーからお湯が出なかつたりなど、日本では考えられないようなこともありました。

範大学というところです。中国到着当時は見るものや学ぶことが新鮮で毎日が楽しく、濃密だったため一日が長く感じられました。が、帰国した現在は4カ月という時間はあつという間で、とても短く感じています。

私が留学を決心した一番の大きな理由は、中国はどういう

眼を輝かせ派遣留学・海外セミナー帰国報告会



情報文化学科
山崎 祥基

ユーティリティカルを観たり、ジャズコンサートを聴いたりしました。またダンスパーティーやハロウィンのイベントに参加したりもしました。

ロシアコース

自分の目で確かめて
相手の国の理解深め



情報文化学科
渡邊 大輔

まだ私のロシア語は未熟ですが、留学で身に付いたこととて最も大きいものは、ロシア語の能力ではなく、自分の話す言葉が口々に通じない中で意思疎通を図ろうとしていることだつたり、自信のない言葉だつたりとして、話す度胸だつたと思います。この留学を通して、日本に居ながらできなかつたような体験をさまざま人と出会うことができました。最後に、素敵な4ヶ月をありがとうございました。

両親や親戚も中国は気を付けた方がいい、行かない方がよいと言つっていました。しかし、私はその時、自分の目で確かめもせず、TVや新聞の情報だけで判断して良いのかと思つていました。少ない情報だけで中国と

範大学というところです。中国到着当時は見るものや学ぶことが新鮮で毎日が楽しく、濃密だったため一日が長く感じられましたが、帰国した現在は4ヶ月という時間はあつという間で、とても短く感じています。

私が留学を決心した一番の大きな理由は、中国とはどういう国、中国人はどういう人だろうということを自分の目で確かめたかつたからです。2012年ごろから尖閣諸島領有問題などを機に日中関係が悪化し、中国国内で反日デモが発生しました。日本人の中国に対するイメージは悪い方向に向かい、一年が経過した今も日中関係は良いとはいえません。他にも連日報道されたPM2.5による大気汚染や、首相の靖国神社参拝によって両国の関係が悪化しているのが現状です。私も行く前は中国に対してもあまり良いイメージはなく、治安の心配がありま

異文化に触れ成長を実感

韓国コース



情報文化学科

おかげで私の中国語は上達しました。また、現在の日中関係についても互いの意見を話し合って、相互の国の理解を深めました。決して中国人だからといって悪い人ではないです。現在、本学の中国語履修者数は減少しており、その要因として日本関係の悪化が挙げられると思います。しかし、みなさんがイメージする中国は眞実ではないと思います。私は留学で体験したこと、中国の印象や思ったことなどを後輩や友人、家族などに伝えていきたいです。

また、他にも学んだことがあります。まずは友人の大切さです。中国留学組は10人で行き、みんなで多くのことを体験していました。最初、仲はあまり良くななく4カ月生活できるのかと、いう不安がありました。でも、一緒に生活していると今まで知らなかつた友人の優しい一面や、気を遣つてくれる面を見ることができ、感謝ばかりでした。お互いに協力し合い、留学を大好きな友人と一緒に過ごすことができ、自分の一生の宝物になりました。

私は8月30日から約4ヶ月間、韓国の慶熙(キヨンヒ)大学に留学してきました。私が韓国に留学する前に日韓の外交関係がとても悪くなり、教授や家族

人の優しさに触れて
外交関係の不安が消えた

私が会った方はみんな気さくで親しやすい方ばかりで、これは、私個人が感じた事ですが、韓国という場所は皆さんが騒がれているほど危険ではなく、優しく親切な方も多い場所ということをまず知つて欲しいです。

に韓国は危ないと聞いていて、すごく不安でした。しかし実際に行つてみたら韓国人の中で日本人を批判する人は少なく、むしろ歓迎する人が多かったんです。地下鉄で韓国人のおじさん日本人を批判する言葉を言わされました。4ヵ月間韓国で生活してきて、日本人を批判する言葉を言われたのは、この一度だけでした。

A black and white photograph of a group of approximately 15 young people, mostly women, posing in front of the Beijing 2008 Olympic Cauldron. They are making various playful and expressive hand gestures. The background features the large, curved structure of the cauldron, with the 'Beijing 2008' logo and the Chinese characters '两个奥运同样精彩' (Two Olympics, equally wonderful) prominently displayed. The Olympic rings are also visible on the right side of the structure.

このように、現地の人とコミュニケーションを取ることで、葉の壁を感じて辛くなつた時もありましたが、みんな丁寧に韓

留学を通して感じたのは、現地の人と直接話してコミュニケーションを取るのが語学力の向上に一番大切ということです。私は韓国で出会った韓国人やアメリカ人の友達と一緒にストリートスナップやサッカーをしていました。まさか韓国で自分の趣味である写真やサッカーに関われると思っていなかつたので、今思えば、奇跡的な出会いだつたと思います。友人たちのおかげでとても充実した留学生活を送ることができます。感謝していま

学を学ぶ楽しさを覚えました。韓国語を使わなければ何もできないという状況下で、毎日韓国語に携わっていると自然と単語を覚えたり、少しずつですが語学力が身に付いてきていることを実感したりと、この留学が語学を学ぶ楽しさを知るきっかけになりました。

カナダコース



情報システム学科
曾我 絵美花

日 常 と 違 う 未 知 の 環 境 で
自 分 自 身 を 見 つ め 直 し た

國語を教えてくれたり私の下手な韓国語を熱心に聞いてくれたりと、人の優しさに触れることがでもつと韓国語を勉強して、もつとみんなと話したいと考えるようになり、より熱心に語学の勉強に励む事ができました。

ホームステイ先は、大学のあるエドモントンとは別のセントアルバータという市のご家庭でした。ホストマザーは日本出身の方でしたが、特別扱いせず常に英語で会話してくれました。休みの日はウエストエドモントンモールに連れて行ってくれたり、近所の方を招いて歓迎パーティをしてくれたりしました。あなたはこの家人なのだから、好きなように過ごしてくださいのよ、help yourself。お互い気持ちよく過ごせました。最初の頃は、カナダの方と日本のジョークやニュアンスの捉え方にずれがあつて誤解が生じていましたが、話の場を設けてくれて和解することができました。それもあつて、より深い仲を築けたと思います。もつともつと勉強して、いつかまたホストマザーに会いにアルバータに帰つてこようと思いました。

その国の文化を学ぶと同時に、外から見た日本を違う視点から見たいと思つたからです。英語の授業は10人くらいのクラスで行われました。最初は本当にこのクラスにいてもいいのか不安を覚えるほど授業についていけませんでした。自分の能力のなさにかなり落ち込みました。しかし積極的にクラスの人と交流して、徐々に打ち解けていきました。簡単な英語でもコミュニケーションが取れればいいのです。お互いに英語を勉強している身なので一生懸命話そうと頑張りました。年齢も出身もさまざまの人たちが参加しているので多くの文化に触れることができました。

本校・みずき野キャンパス1階の学生食堂「弥彦」が全面的にリニューアルされました。座席や調理場のレイアウトが一新され、さまざまなイベントにも対応できる、と

9月には学生会館に直結 メニューもグレードアップ



新設される学生会館とも直結される予定で、単なる学生食堂を超えた、多様化する学生ニーズに応えた施設となります。

今回のリニューアルに併せ、メニューもグレードアップ。日替わり定食をはじめ、カレー、ラーメンなど、手作り

また、今回から新たに食券購入にプリペイドカード方式が採用され、現金でのやり取りが無くな

り便利となりました。

学生に限らず、卒業生、一般の方も新しくなった学生食堂をどうぞお気軽

にご利用ください。

気の学食になりました。9月の完全リニューアル時には、座席数が10席増えて500席となりました。合わせて9月に

り、さらにゆったりとく

つろぎながら過ごすこと

でも使い勝手が良く、お

る時には、座席数が10

ができます。

また、以前から要望があ

った、ちょっとだけおか

ずが欲しい場合にお勧め

の小鉢メニューも新たに

登場！管理栄養士監修の

もと、不規則となりがち

な学生の食生活をサポート

する、価格の安さはも

ちろん、ボリュームが多

く栄養バランスも良いメ

ニュー構成で、キャンパス

ライフを食事面からも支

えます。

にこだわったメニューを

豊富に用意しています。

また、以前から要望のあ

った、ちょっとだけおか

ずが欲しい場合にお勧め

の小鉢メニューも新たに

登場！管理栄養士監修の

もと、不規則となりがち

な学生の食生活をサポート

する、価格の安さはも

ちろん、ボリュームが多

く栄養バランスも良いメ

ニュー構成で、キャンパス

ライフを食事面からも支

えます。

教員の活動（本人申告による）

新大工学部とも単位互換協定

新潟大学工学部と本学情報文化学部との間で2月18日、単位互換協定が締結され、今年度4月1日から実施されることになりました。これまで新潟大学と

学部との間で単位互換が実施されていますが、今回さらに、工学部との間で実施されることになりました。また、本学には大学院で実施されることになり、両大学の学術的な交流も広がり、学部学生が進学を希望する学生が新

人文、経済両学部に続き一層の交流を



1) 研究論文・図書

内田 亨（情報システム学科・教授）

・(2013年)「地域の中小企業とそれを取り巻くステークホルダーによる地域ブランド構築のメカニズム」地域デザイン学会誌地域デザイン2 (論文6)

佐々木 寛（国際文化学科・教授）

・(2014年)編著「平和を考えるための100冊+α」法律文化社

白井 健二（情報システム学科・教授）

・(2014年) "Propagation of Working-Time Delay in Production", International Journal of Innovative Computing, Information and Control 10, 169-182

谷本 和明（情報システム学科・教授）

・(2013年) "High-speed Emulation Model for a Hybrid DC/AC Microgrids with Renewable Energy Sources", IEEE ICRERA.

・(2014年)「小規模再生可能エネルギーの現状と可能性」新潟国際情報大学情報文化学部紀要第17号

近山 英輔（情報システム学科・准教授）

・(2014年) "Solvability Model for Chemical Oscillations", Journal of Mathematical Chemistry 52, 399-406.

アレクサンドル プラソル（国際文化学科・教授）

・(2013年) "Military-Political Organization and Social Structure of 16th Century Japan", Gumanitarnye Issledovaniya Sibiri i Dal'nego Vostoka 5, 60-71.

2) 学会・研究会・講演等

越智 敏夫（国際文化学科・教授）

・(2013年12月9日) 講演「政治再考：市民とは誰か？」新潟市選挙管理委員会（新潟市役所）

小宮山 智志（情報システム学科・准教授）

・(2014年3月26日) 講演「地域活性化における大学生の役割と次世代育成における地域の役割」新潟市西区役所・西区連合商工会（新潟国際情報大学）

佐々木 桐子（情報システム学科・准教授）

・(2013年12月8日) 「災害とJIT ~自動車産業のサプライチェーンへの影響~」日本経営システム学会（広島経済大学）

佐々木 寛（国際文化学科・教授）

・(2013年10月11日) 講演「平和学から考える沖縄」新潟日報社連携講座：異文化塾（本学新潟中央キャンパス）

・(2013年9月21日) 講演「思いやり・優しさから権利の主体へ」坂井輪地区公民館人権講座（坂井輪地区公民館）

・(2013年10月24~27日) 大会実行委員長、および部会討論者：日本国際政治学会2013年度研究大会（新潟コンベンションセンター）

・(2013年11月6日) 「平和学から考える沖縄」写真展「命どう宝、海よ、森よ、暮らしを」実行委員会主催（万代市民会館）

・(2013年11月10日) 司会「平和学の方法と安全保障研究の方法」日本平和学会分科会（明治学院大学）

・(2013年11月16日) 講演「子どもの人権を考える——グローバルな視点から」（万代市民会館）

・(2014年3月2日) 「平和研究と国際政治学の間——高柳先男」科研費基盤研究C：国際関係論

夢中になれた みずき野の日々

しかし、その留学は夢に描いたものとは違つてしましました。日本の生活環境や繊細な感覚の方が自分には合っていると、留学中のさまざまな場面で思い知ることになつたのです。留学の後、夢中になれるものを見つけたいと思

き抜くという過酷な旅です。5月からは毎週研修で、辛いこともありましたが。しかし、同世代の仲間と同じ思いを分かち合えたこと、5日間全力で子どもたちと向き合った

留学も100kmも実体験がいろいろなことを気づかしてくれました。社会人になつても、これらを生かしていきたいと思っています。

大学生生活を振り返つてみると、長いようで、とても短かった4年間でした。1、2年生の頃は、毎日の授業と忙しいアルバイトの両立に必死で、もつと思い出に残るようなことをすればよかつた、という後悔があります。

とになり、学園祭までの約1ヵ月半、本気で練習しました。ライブでの成功と失敗、緊張と達成感。これらは今でも覚えています。

思い出になりました。後輩の皆からのプレゼントも一生の宝物です。3年生になつてから入部した新入りへ、分け隔てなく、そして仲良く接してくれてあります。4年間碧唯さん、社会人になると自由時間が激減するといふと聞いています。

新潟国際情報大学に入学して5年。あつという間に時が過ぎて行つたようになります。もともと英語が好きだった私は、留学したいという理由からこの大学に入学しました。大学2年次に留学制度を通して行つたノースウェスト・ミズーリ州立大学での約4ヶ月の経験が、私の大学生生活、また人生を変える大きなきっかけになつたよう思います。そこでの英語学習は、本当にハーデなものでした。ただ、今思うと、あ

してきました。英語はもちろん、国際交流を通してたくさんのこと学ぶことができました。私が一番に感じたことは、国境や言葉の壁などない”ということです。

卒業後はオーストラリアで働くことになりましたが、この大学で学んだ経験を生かし、より成長していくたいと思ってい

「自分」を変えた留学経験

情報文化学科 和平

情報文化学科
和平優子

「計画的に進める」を実践 情報システム学科 畠山

花 彩

きつとそんな発見も、この大学に入らなければ、気づくことはなかつたと思います。 2回の留学をサポートしてくれた母、また相談にのつてくれた先生方、どんな道を選んでも理解し

大学に入学してから4年間はあつという間でした。新しい環境、新しい友人に最初は戸惑いましたが、だんだんと慣れました。仲の良い友人もできました。

きたのは、自分にとつて大きく、今後にも役立てていくことができると思います。 もつと積極的にサークル活動をすればよかつた、もつと旅行に行けばよかったです。この目標を就職活動にも生かし、履歴書に追われる忙しい時期をなんとか諦めることなく乗り切ることができました。

える自由時間が増えました。楽器のベースを購入し、それをきっかけに、友達の誘いで軽音楽部に入部しました。入部早々、学園祭のライブに出るこ

そして4年生では、2回目の学園祭ライブを経験し、卒業ライブに出演しました。卒業ライブでは後輩と一緒にバンドを組んで出演し、とても良い

の大学生活を悔いなく過ごすために、今しかできないこと、それを積極的に行つてください！「一生残る、大学生活の思い出」のために。

ライブで得た一生の宝物

情報システム学科

碧唯 在学生の皆さん、社会人になると自由時間が激減する」と聞いていた

A black and white photograph of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark tuxedo jacket over a white dress shirt with a bow tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression. A microphone is positioned in front of him, and the background is dark and indistinct.

新潟国際情報大学 学長 平山 征夫

て先生方の人間味溢れた指導のもと勉学に励んだ大学生活は、皆さんが最も輝いていた青春の尊い記念碑になることでしょう。

世界経済も米国の金融緩和効果などから回復過程にあるよう見えますが、中国等の成長が鈍化してきてることや、欧州国家債務危機が奇妙な静けさの中で基本的の解らです。

より幸せにする」べく創られた仕組みではなく、より利益をあげるのに適した仕組みであるからでしかなく、国益や企業益が優

高い志と心を豊かに

卒業式を迎えるに当たり、卒業生諸君に心から「卒業おめでとう」とお祝い申しあげます。

また、ご列席のご父母の方々には御礼申し上げます。4年間家庭から支えられましたご来賓の方々には御礼申し上げます。新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表しまして皆さまに御礼とお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さんには今、卒業式に臨み、4年間の大学生活の思い出が走馬灯のように巡り感動で胸がいっぱいのことだと思います。同時に4月からの社会人としての新たなスタートへの期待と不安も去来していることでしょう。

4年前、皆さんは大きな希望と勉学意欲に燃えて本学に入学してきました。そしてみずき野の四季は巡り、4年の歳月が経ちました。みずき野でのキャンパスライフは如何でしたか。この恵まれた自然の中でスポーツにいそしみ、友人と友情を育みそし



JABEE認定プログラム

10人に修了証書授与

「技術士」を目指して社会へ

卒業式の当日には、JABEE(日本技術者教育認定機構)認定情報システム技術プログラムの修了証書授与式も行われました。

平成25年度の同プログラムを無事修了したのは10人。学長が一人一人に修了証書を授与して努力をたたえ、資格を取得し実社会で活躍するよう期待・激励しました。

このプログラムはJABEEが認定する教育制度で、情報システムを開発する技術者になるために必要な教育を受けたという社会的評価が与えられます。修了生は文部科学省令で定める国家資格である「技術士」の第一次試験を免除される優遇措置が受けられます。また所定の登録を行うことで「技術士補」の資格を取得することができます。

これで本学情報システム学科を卒業し修了証書を取得した学生が合わせて111人となりました。

世界経済も米国の金融緩和効果などから回復過程にあるように見えますが、中国等の成長が鈍化してきており、欧州国等家債務危機が奇妙な静けさの中で基本的解決対応がされないまま忘れかけられていること、金融問題として中国のシャドウ・バンキング問題という新たな火種が生じていること、そして何よりも近年最大の経済事件であった「リーマンショック」発生に伴う「世界不況」の原因となつた巨大な投機マネーが放置されたままであること、ショック発生を機に見直されるべき現在の「金融資本主義」について全く議論されずに、TPP議論など「自由な競争が正義」という経済論理だけが生き残つて、再び競争による成長を目指していることは、これから人類が地球と調和していくかなければならぬ必須条件の中でこの選択で良いのかと危惧しているのです。

永年、政治・経済界で生きてきた私には現在の世界の仕組みが「より多くの人々を

より幸せにする」べく創られた仕組みではなく、より利益をあげるのに適した仕組みであるからでしかなく、国益や企業益が優先されるシステムであることを知らされました。ですから皆さんがこれから生きていゆく時代をみると、必ずしも安心できる平稳な時代には見えません。でも皆さんはそうした時代を眺めてたじろいでばかりはいられません。私は最近ヨーロッパの中世の歴史に興味を持つて調べていますが、長い人類の歴史を振り返れば、問題の無い時代なんてありません。鬪いばかりしていた人類の歴史ですが、いつの時代でも時代を切り拓いていったのは若者です。若者は溢れんばかりの勇気をもって、年長者の知恵を助けにしながら、歴史を乗り越えていったのです。これからもそうやって立ち向かうのです。これからもそうやって立向つて行くしかないのでした。時代に臆病にならぬ、勇気と希望を持つて立ち向つてください。

ジして欲しいのです。困難に向き合つても、それを時代や他人のせいにせず、自らが勇気を持つて立ち向かい、夢の実現に努めて欲しいのです。自分の人生は自分の足で立て進んでゆくしかないのです。全力を尽くした人生なら納得も出来ます。一度の人生です。納得のゆく人生を送つてください。卒業される皆さんにもう一つ申し上げたいことがあります。それは、先程申し上げたように経済優先・成長優先の時代だからこそ「人間性を大切に生きてほしい」ということです。それに関連して私が最も尊敬し、最も今大切にされるべき経済学者であると思っています”ソースティン・エブレン”的言葉を紹介します。彼は1857年7月に生まれ、1929年8月に亡くな



学校法人 新潟平成学院
理事長 星野 元

心を込めて仕事をし
社会に立ち向かって

本日第17回卒業式をめでたく迎えられました287名の卒業生の皆さん、卒業誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

角田山、弥彦山を望む「みづき野」のキャンパスに青春の思い出を深く刻み、いままさに巣立ついく皆さんに一言、激励の言葉を贈ります。

新潟国際情報大学は昨年、開学20周年の記念すべき年を迎えましたが、私は12月に大学を運営する学校法人新潟平成学院の理事長に就任したばかりです。

本日は、先般、新潟日報社の社長を退任されたばかりの高橋道映相談役がご来賓としてお越しいただいておりますが、私も新潟日報社の同人であります。

私ごとで恐縮ですが、遡ればちょうど半世紀も前になりますが私は新潟地震の年、昭和39年に、県紙であります新潟日報社の記者としての道を歩み出し、その後経営者としても長い間新聞と付き合つてまいりました。そしてこの間、口癖のように後輩たちや社員に言い続けてきたのが「心を込めて新潟日報社の同人であります」という言葉でした。

「心を込めて記事を書き、心を込めて新聞を作り、心を込めて読者に届けよう」と事あるごとに言うものですから、「またか」と辟易する社員も多數いたのではないかと思ひます。

なかでも私がとりわけ声を大にして、このことを言つたのは、今年10月でちょうど10年になる2004年の中越地震発生の時

でした。記者たちは、それこそ泣いたり、叫んだり、泥まみれになつて被災地を走り回り、「心を込めよう」という私の口癖に応えるように記事を書き、写真を撮り続けました。このことは私の最大の誇りでもあります。ですが、情報が途絶えて何が起きたかよく分からぬ中で孤立感を深めていた山古志、川口などの被災地に号外や朝刊を届けた時、避難所の住民から思わず歓声が上がつたという話を、ヘリコプターで届けた販売局の社員から聞きました。新聞が被災地を励まし、勇気づけたのです。電気やガス、水道と同じように「心を込めて」作つた新聞が、まさにライフラインの一つになつたと私はその時確信しました。皆さんには今日この日をスタートライインに、実社会に一步を踏み出すわけですが、人生これ、という決まった生き方はありません。

一人ひとりが、それぞれの長い人生を生き、それぞれが異なる頂上、高さを持つ人生の山々を一步一歩登つていくことになります。険しい山、なだらかな山、それぞれが違うから面白いわけですが、皆さんにた

る本学の卒業生にとつて、誇りの持てる母校であり続けたいとthoughtています。これらは皆さんとは卒業生としてお付き合い一直到くことになりますが、街で逢つたら「学長、大学はどうですか」と声をかけてください。その時は「おお! しつかりした人生を送っているな」と感じられれば学長としてこの上ない大きな幸せです。

皆さんの卒業後になつて申し訳ありませんが、夏過ぎに20周年事業の「学生会館」が完成します。この会館が卒業生にとつても心の拠り所になることを願つています。同窓会活動等に大いにご利用くださるよう期待しております。

今年のみずき野への春の訪れは例年になく早そうです。それは本学として21回目の春であり、新入生を迎える季節でもあります。皆さんのお後輩を迎えるわけです。人々はこうして春とともに新たな人生に向つてスタートを切ります。皆さんは社会人としての人生に歩み出します。そんな皆さんへあらためて卒業おめでとうと申し上げますと共に、その前途に幸多かれとエールを送つて私のお祝いの言葉といたします。

・社会学者です。シカゴ大に長く奉職、その後スタンフォード大、ミシガン大などを転々としました。女性問題などもあって学問的業績の割には恵まれず1929年10月ウォール・ストリートの株価大暴落に端を発した世界恐慌の2ヶ月ほど先に、自らの恐慌予告の結果を見ずに静かに亡くなりました。

一般的には制度派経済学の創設者として評価されていますが、世界恐慌発生後ケインズ経済学が注目され、その先駆者として評価されたほか、近年リーマンショックにより再び「資本主義が生まれながら持つてゐる営利企業が産業体制を管理する矛盾は、経済破綻の大きなリスクとなる」との指摘が注目されています。私はヴェブレンがウ

オール・ストリートの株価暴落、バブル・崩壊を予告した時に、その根本原因として指摘した「人間は絶対的豊かさで満足出来ず、相対的豊かさでのみ満足する動物であるため、激しいバブルを産む危険がある」との言葉を今嘯みしめています。この鋭い指摘はそのまま80年後に発生したリーマン・ショックでも全く当てはまっているからです。「人間は経済的欲望を際限なく追い求めで何処まで行くのだろうか」と暗然とした想いで今を眺めています。私は最近講演等で「奪い合えば足りないが、分かち合えば余る社会」を目指すことを訴えているのもそうした想いからです。このヴェブレンの言葉は「人間にとつて大切なこと、真の幸福の条件は経済的豊かさにあるのではなく、もっと別なところに

ある」ことを意味しています。ややもすると、人はマネー重視の風潮の中で、「一番大切な人生の生きがい」を見出すことを怠りがちになります。どうか高い志を持つて、心を豊かにし、人間味に溢れた「大いなる人」になる努力を常にしてください。その際、他人のために役立つ人になつてください。あるアフリカの国の諺に「右手は左手のために、左手は右手のために」という言葉があります。私たちは自身の存在が自分だけのためだけではなく、他人のためにもあることを忘れないでいてください。

最後に卒業後も本学に熱い想いを寄せ続けてくださるようお願いします。本学は昨年創立20周年を迎え、この4月から新たに学部体制の下で21年目のスタートを切ります。引き続き本学が地域に必要な大学です。生き残るために、他の大学も皆同じで、

だ一つ、いつまでも共通して持ち続けてほしいのが「心を込める」ということです。何事にも「心を込めて」一生懸命生きて、そして仕事をして、社会に立ち向かっています。しかし、心を込めたうえでの失敗なら悔やむことも少なくて済むでしょうし、仮に迷惑をかけた相手がいたとしても、心を込めた行為であればその相手の方の心にもきっと響き、理解をしてくれることでし

ょう。そして「心を込めた仕事」なら必ずや地域や広く社会にも響いて、成功につながっていくものと確信しております。

成功体験よりも失敗体験の方がつらい半面、教訓に富んでいると言われます。しかし、それは「心を込めた」結果の失敗体験だからこそ、貴重な教訓を得られる、といふことではないでしょうか。

東日本大震災から3年が経過し、いまなお27万人近くの方々がつらい避難生活をしている現状を私たちは決して忘れてはなりません。

じられ、とても短かっただように思います。そして、このように楽しい時間を過ごしてこられたのは、教職員の皆さま、家族、友人など、多くの人たちの支えがあつたからです。心より感謝申し上げます。

私は、世の中の情報化が進む中、それに付いて行くための知識を学びたいと思い本学へ入学しました。カリキュラムには情報システムに関する知識、技術だけでなく、経営学や社会学、語学など幅広い分野があり、将来具体的にやりたいことを見出せていなかつた私は、この大学でそれが見つけられるかもしれませんと感じました。

そんな中で出会つたのが人間工学です。物やシステムを人のために使いやすく改良していくことに、面白さとやりがいを感じました。そして、この分野を学びたいと強く思ったことが、研究室を選択する決め手になりました。卒業研究では一から物を改良することの難しさを実感し、くじけそうになりました。しかし、人間工学の楽しさ、成果が見られることへのよろこびを認め、懸命に努力し、研究を形にすることができました。また、この出会いは就職活動にも影響し、私は人間工学の学びを生かせる仕事に就きたいと思い活動を行いました。大学での学びはその後の人生に影響を与える貴重な時間なのだとあらためて感じられました。

せんでした。私は環境研究部NUIS Ecoに所属し、ゴミ拾いなどの身近な活動をはじめとしたボランティアの経験を通して、地球環境を考える機会を持つことができました。また先輩、後輩にも恵まれ、他大学と親交を深める機会も持つことができ、サークル活動を通して、今まで以上に幅広い交友関係を築くことができました。講義では学ぶことができない人ととの交わりをサーカル活動で経験できたことは、今後社会に出ても生かせることだと思います。

今日を節目として、私たちはそれぞれ新しい道へと進みます。大学4年間で、知識・経験・交友関係を数多く積んできました。私たちが、これから歩んで行く道には楽しいことだけでなく、辛いことも待ち受けています。大学4年間で、知識・経験・交友関係を数多く積んできました。しかし、大学生生活で乗り越えて行きたいと思います。

最後になりましたが、4年間ご指導を賜りました教職員の皆さま、今日まで温かく見守つてくれた家族、多くの時間、苦楽を共にした友人たち、その全ての方々に心より感謝致します。

易しいことではありません。皆さんには、併せて「心は心でなければ磨けない」ということも覚えておいてほしいと願っています。

最後になりましたが、本日多数ご列席賜りましたご父母の皆さまはじめ、就職などでご支援をいただいております企業関係のご来賓の皆さま、そして今日まで教育を通して学生たちの人間形成にご尽力いたきました教職員の方々に心より深く感謝を申し上げまして、私の祝辞といたします。

卒業生代表 答辞



(総代)情報システム学科
渡辺 景子

貴重な学び、多くの出会い

支えてくれた全ての人々に感謝

日がだんだんと長くなり、寒さも和らぎ過ぎしやすい季節となりました。春めいてくるとともに、私たちも一つの節目を迎えます。

本日は私たちのために、このような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございました。本日、私を含め287名が晴れて卒業することとなりました。これまでご支援を賜つた全ての方々に卒業生を代表して厚く御礼申し上げます。

4年前、期待と不安を胸に新潟国際情報大学の門をくぐつたことが昨日のことのようになります。時の流れは速いもので、4年間の大学生活はあつという間に感

じられ、とても短かっただように思います。そして、このように楽しい時間を過ごしてこられたのは、教職員の皆さま、家族、友人など、多くの人たちの支えがあつたからです。心より感謝申し上げます。

私は、世の中の情報化が進む中、それに付いて行くための知識を学びたいと思い本学へ入学しました。カリキュラムには情報システムに関する知識、技術だけでなく、経営学や社会学、語学など幅広い分野があり、将来具体的にやりたいことを見出せていないかつた私は、この大学でそれが見つけられるかもしれませんと感じました。

そんな中で出会つたのが人間工学です。物やシステムを人のために使いやすく改良していくことに、面白さとやりがいを感じました。そして、この分野を学びたいと強く思ったことが、研究室を選択する決め手になりました。卒業研究では一から物を改良することの難しさを実感し、くじけそうになりました。しかし、人間工学の楽しさ、成果が見られることへのよろこびを認め、懸命に努力し、研究を形にすることができました。また、この出会いは就職活動にも影響し、私は人間工学の学びを生かせる仕事に就きたいと思い活動を行いました。大学での学びはその後の人生に影響を与える貴重な時間なのだとあらためて感じられました。

大学で学んだことは勉強だけではありません。本日ご臨席の皆さま、後輩の皆さんのご健康とご活躍、そして開学20周年を経て、新たな歩みを始める新潟国際情報大学のさらなる発展を願い、答辞とさせていただき

祝電

順不同

日本私立大学協会会長
大沼 淳様

新潟県知事
泉田 裕彦様

新潟市長
篠田 昭様

新潟商工会議所会頭
矢島 徹雄様

関越ソフトウェア株式会社
代表取締役
関口 千房様

セコム上信越株式会社
代表取締役会長
野沢 慎吾様

株式会社ゲイン
代表取締役
小松 良平様

ALSOOK
代表取締役社長
清水 保様

株式会社総研システムズ
代表取締役
廣田 幹人様

新潟綜合警備保障株式会社
代表取締役
山城 由紀雄様

株式会社日本ドリコム
代表取締役
ハミングツアーア
月岡温泉ホテル清風苑
代表取締役

株式会社マルイ
代表取締役
樋口 恵一様

新潟国際情報大学
代表取締役社長
小池 信介様

石崎 徹様

衆議院議員

15

平成25年度卒業式

287人が晴れやかに旅立ち



「おめでとう」と一人一人と握手して前途を祝福しました。平山学長は式辞で「卒業後も学ぶことを続け、時代に臆病にならず、勇気と希望を持つて立

A photograph of a graduation ceremony at Waseda University. The stage is set in a large auditorium with tiered seating. A large pipe organ is visible on the left. A banner on the stage reads "Waseda University Graduation Ceremony". Several people in academic gowns are standing on the stage, and a group of students in caps and gowns is seated in the foreground, facing the stage.

意を述べました。最後に卒業生と父母、教職員ら全員が一緒になつて、合唱部、吹奏楽部の演奏で校歌を歌い、大きな会場いっぱいに祝福の拍手が響きました。

同日夕方には、恒例の祝賀会がAN A クラウンプラザホテル新潟で開かれました。晴れ姿の卒業生は教職員との記念撮影や乾杯を繰り返し、「友と語ろう夢創る明日を」と、別れを惜しみながら学生時代最後のパーティーを楽しんでいました。

平成25年度（第17回）卒業式が3月21日、新潟市民芸術文化会館（りゅうじやくぶんげいじゅつぶんかかいかん）（とぴあ）コンサートホールで行われ、287人（情報文化学科123人、情報システム学科164人）が晴れやかに新しい社会へ巣立つていきました。式典ではまず学位記授与が行われ、卒業生全員が名前を呼ばれて登壇し、平山征

ち向かい、人間性を大切に生きてほしい」と激励しました。

これに對し、卒業生を代表して情報システム学科・渡辺景子さんが「これから的人生に影響を与える貴重な時間を過ごし、幅広い知識と交友を築くことができました。今後もそれぞれの新しい道を努力し乗り越えます」と答辭、新生

第17回までの卒業生は合計4,958人に

年 度	卒業者数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第 1回)	295人	116人	179人
10年度(第 2回)	290人	124人	166人
11年度(第 3回)	303人	126人	177人
12年度(第 4回)	294人	114人	180人
13年度(第 5回)	291人	118人	173人
14年度(第 6回)	277人	111人	166人
15年度(第 7回)	314人	118人	196人
16年度(第 8回)	294人	115人	179人
17年度(第 9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
22年度(第14回)	310人	117人	193人
23年度(第15回)	272人	110人	162人
24年度(第16回)	286人	111人	175人
25年度(第17回)	291人	124人	167人
合 计	4,958人	1,983人	2,975人

※9月卒業生含む

平成25年度
卒業生特別表彰
学長賞(学業成績優秀者)

情報システム学科（総代） 渡辺 景子
情報文化学科 日木 あす香
学術賞

情報文化学科
ロシア語スピーチコンテストに挑戦して、第11回新潟ロシア語スピーチコンテスト初級部門で優勝。その後も同コンテストにおいて本学学生で優勝。その後も同コンテストにおいて本学学生

情報システム学科
井島 健太
生が活躍する先駆をなした。また、アムール川
洪水救援募金活動の参加など、各種のボラン
ティア活動に積極的に参加した。

情報文化学科
中原 澄佳
I-IIパスポート試験(第II種)を皮切りに、
基本情報処理技術者試験(第II種)、応用情報
技術者試験(第I種)、さらに難度が高く、専
門的な知識が要求されるネットワークスペシャリ
スト試験(第I種)に在学中に合格した。

国際交流賞
TOEICで本学資格取得奨励奨学金第1種の成績を収めた英語能力を生かして、国際交流インストラクターとして初めて「英語によるワークショップ」を発展させ、在学4年間でにわたり県内の小・中学校・高校で同授業を多く実施した。

情報文化学科

同好会 学生団体 T.I.C. を設立して代表として活動を務め、日本学生会議所新潟支部の運営担当などの活動を主とし、新潟市の青年団体として、表としてワーキングタスクを訪問して「ウラジマントスク 青年国際交流フェスティバル」に参加して新潟市の魅力を積極的に伝えるなど国際交流に貢献した。

情報文化学科
清野 未琴

公認団体「ゴルフ部」を設立して代表を務め、競技実績においても、第13回県知事杯新潟県ゴルフ選手権競技優勝、第49回関東学生

情報システム学科
須田 彩未
女子ゴルフ選手権優勝など、多くの大会に積極的に参加して優秀な成績を収めた。

情報システム学科

同好会「チョコボ新潟国際情報大学ボランティアセンター」を設立して代表を務め、特別支援教育ボランティア（赤塚小学校や被災地支援ボランティアをはじめ、積極的に数多くのボランティア活動を企画し、参加した。